

項目	説明	
試料・情報の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	肋間神経による横隔神経再建が術後横隔膜機能に与える影響について
	研究対象者	2023年1月～2024年10月に横隔神経浸潤を伴う肺・縦隔腫瘍に対し手術が行われ、横隔神経合併切除された方。
	研究目的	肺・縦隔腫瘍手術時に、腫瘍の横隔神経浸潤によって横隔神経を切離せざるを得ない場合があります。その際、肋間神経を用いた横隔神経再建考慮されることがありますが、術後どの程度横隔膜運動が改善するかは分かっておりません。本研究は当院で横隔神経再建を行った患者さんの胸部レントゲン結果および呼吸機能を非再建患者さんと後方視的に比較検討し、横隔神経再建が術後横隔膜機能へ与える影響を検討することを目的としております。
	研究方法	術前・術後胸部レントゲンの画像解析を行い肋間神経による横隔神経再建患者さんと非再建患者さんの解析結果を比較し、さらに術前・術後の呼吸機能を比較検討します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません/
	研究期間	西暦 2024 年 11 月 5 日 ～ 西暦 2029 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 [] ゲノムデータ、[]看護記録、[]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター 研究責任者	所属・氏名 呼吸器外科・伊坂哲哉
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・呼吸器外科・伊坂哲哉・045(520)2222(代) 利用停止のお申し出は 2025 年 3 月 31 日までお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	